


報道機関各位

令和元年(2019年)5月29日(水) 15時30分配付

項目	感染性胃腸炎患者等の発生について
配付資料	感染性胃腸炎患者等の発生について
内容及び報道に当たってのお願い	<p>令和元年(2019年)5月29日(水)網走保健所管内の小学校において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。詳細は別添のとおりです。</p> <p>なお、北海道保健福祉部健康安全局地域保健課においても、本日15時30分に資料配付しております。</p> <p>※報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段のご配慮をお願いします。</p> <p>(参考)</p> <p>感染を防ぐために(三原則)</p> <p>1. 手洗い</p> <p>① 爪を短く切って、指輪や時計をはずします。</p> <p>② 石けんを十分に泡立て、ブラシなどを使用して手指や手首を洗浄します。</p> <p>③ 流水で十分すすぎます。</p> <p>④ 使い捨てタオルで手をふきます。(布タオルを再使用したり他の人と共用するのは避けましょう。)</p> <p>2. 消毒・加熱処理</p> <p>消毒用エタノールや逆性石けんではロタウイルスの感染力を失わせることはできませんが、次亜塩素酸ナトリウム(市販の家庭用塩素系漂白剤を希釈したもの)や加熱(85℃、1分以上)は効果があります。(調理器具、食品など。)</p> <p>3. 糞便や吐物の処理、汚染されたおそれがある場所の消毒</p> <p>感染を広げないためには、糞便や吐物、その拭き取りに使用した物の適正な処理が非常に重要です。</p> <p>① 使い捨てのマスクと手袋を着用し、汚物中のウイルスが飛び散らないように、糞便や吐物をペーパータオルで静かに拭き取ります。</p> <p>② 糞便や吐物が付着した床等は、次亜塩素酸ナトリウムで浸すように拭き取ります。じゅうたん等にはアイロンをかけます。</p> <p>③ 拭き取りに使用したペーパータオル等は、次亜塩素酸ナトリウムを希釈したものに5分～10分浸した後、廃棄処分します。</p>
担当	<p>北海道網走保健所 (北海道オホーツク総合振興局保健環境部保健行政室)</p> <p>(職・氏名) 健康推進課長 藤倉桂子 (電話) 0152-41-0694 (FAX) 0152-44-4879</p> 

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年(2019年)5月29日(水) 15:30

北海道網走保健所
(北海道オホーツク総合振興局保健環境部保健行政室)
TEL 0152-41-0694
FAX 0152-44-4879

令和元年(2019年)5月29日(水)、網走保健所管内の小学校において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 発生の探知

令和元年(2019年)5月27日(月)に、網走保健所管内の小学校から、複数の児童がおう吐、下痢等の症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

網走保健所管内の小学校の児童20名が、5月18日(土)から5月27日(月)にかけて、おう吐、下痢、発熱などの症状を呈し、うち11名が医療機関を受診し治療を受け、うち2名が入院した。

3 現在の状況

5月29日(水)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。
入院した2名については、1名は回復し既に退院、もう1名は入院中であるが、快方に向かっている。

4 経過

5月18日(土)～5月27日(月) おう吐、下痢、発熱等の有症者発生
5月22日(水)～5月26日(日) 医療機関において有症者のうち2名の便を検査した結果、ロタウイルスを確認
5月27日(月) 小学校から保健所に通報

5 感染経路

現在調査中

6 対応

網走保健所では、当該小学校に対し、児童及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び校内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時30分、北海道保健福祉部健康安全局地域保健課においても資料配付を行っています。

報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ロタウイルスとは

ロタウイルスは、主として乳幼児に見られるおう吐下痢症状の原因ウイルスである。
ロタウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、冬期から春期に集中して発生する。
なお、成人でも感染が見られることがある。

主 症 状：下痢、吐き気、おう吐、腹痛、発熱
潜 伏 期 間：2～4日
経 過・予 後：通常1～2週間で回復